

「機械に出来る仕事は機械に」を モットーにモノづくり現場を支援

生産ライン自動機的设计・製造のパイオニア

作業する人が人間にしかできない仕事に集中できるように、人間本来の価値、能力を大いに発揮して仕事に取り組むことができる環境を整備することが自動化の一番の意義です



NKE 株式会社

代表取締役社長

中村 道一

人手に頼っていた作業を機械が行うことで作業効率向上し、品質が確保できるなど自動化のメリットは大きい。自動化＝オートメーションはあらゆる産業分野、製造現場で欠くことのできないモノづくりの必須テーマだ。

生産現場の自動化機器、システムの設計・製造・販売を長年にわたって携わってきたのが、京都府長岡京市に本社を構えるNKE株式会社である。昭和44年の会社設立以来着実に業容を拡大し、現在長岡京市の本社工場と京都市伏見区の伏見工場に生産拠点をもち、さいたま市、山形市、厚木市、名古屋市、京都市、福岡市に営業所を構える。中国やタイにも海外営業拠点を擁している。

「機械にできる仕事は機械に任せ、危険な仕事や重労働、単純な繰り返し作業などから人間を解放し、創造的で革新的な仕事に集中できるようにするのが自動化（オートメーション）の真の価値だと思います」

こう力強く語る中村道一社長は52歳。NKEは生粋のエンジニアで機械設計が大好きだった父親である中村圭二現会長が設立した中村機器設計事務所が始まりだ。経営者として一心不乱に仕事に打ち込む父親の姿を目の当たりにし「自分もいずれはこの会社で…」という想いを抱き、大学を卒業後、会社勤務を経てNKEに入社した。

それから10年余り、社内のある業務に従事して経験を重ね、幅広い技量を積み上げていった中村社長は、平成17年に父親から経営のバトンを託され2代目社長に就任した。

「創業者である父をはじめ、先輩たちが築いてきた自動化機器のノウハウを受け継ぎ、そこに新たな発想やアイデアという新風を吹き込んで常に革新の気概で事業に勤しむところを経営者としての私の役割だと考えます」



平成28年にIoT機器として新発売したインターネット連絡端末『れんら君』

中村社長は新たな市場に意欲を燃やし、平成28年にネットワーク機器の一種である簡易メール通報装置『れんら君』をインターネットを介してメールで知らせる連絡端末で、冷蔵庫内の温度や水槽内の水質、部屋の温度や使用電力などを遠隔地から熱く語る。

「今日自動化の主流はFA（工場の自動化ライン）ですが、工場以外にも自動化できる所はたくさんあります。だからといって、何でも自動化すれば良いというものではありません。作業する人が人間にしかできない仕事に集中できるように、また人が機械の代わりにするのではなく、人間本来の価値、能力を大いに発揮して心豊かに仕事に取り組むことができる環境を整備することが、工場や設備を自動化することの一番の意義だと考えています」と

メーカーなど幅広く、自動車や家電など各種部品が活躍している。製品、システムが活躍している。

「私たちの方からお客様を絞り込むということはありません。業種、業態を問わず自動化がお役に立てる所であれば、どんなところでも提案、導入させて頂きます」と中村社長。それだけに「どの部分をどういう形で自動化すれば一番いいのか」といった相談の段階から顧客と一緒に考えていくことが理想だという。

「当社ではこれら各種アイテムの販売に加え、アイテム同士を組み合わせた自動化システムとして提供しています」

取引先は、自動車部品メーカーや電機部品メーカー、家電



京都市伏見区にある伏見工場

中村社長は常に斬新な発想と飽くなきチャレンジ精神を発揮して様々なことがらに挑戦しつつ社業の発展成長に力を尽くしてきた。

人間価値を高める

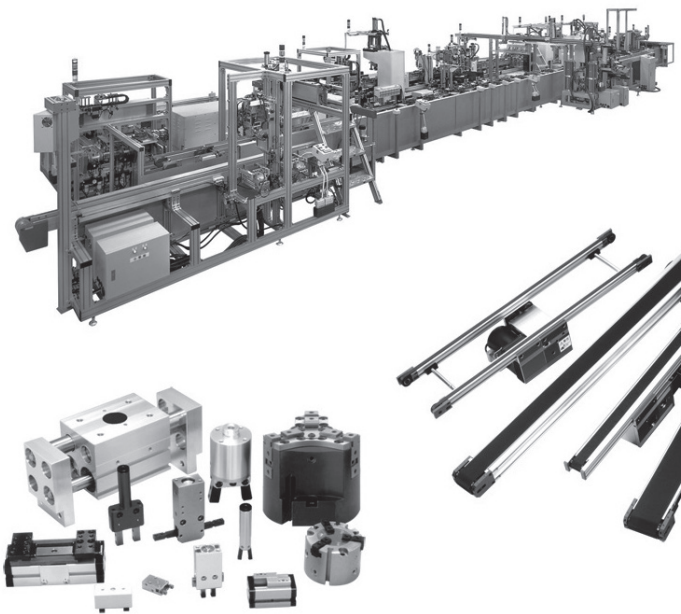
自動化IIオートメーション

無限の可能性秘めるネットワーク機器
『れんら君』

現在、NKEが手掛ける自動機は、モノを上げる・回す・下ろす・掴む・押す・送るなどの「パーツハンドリング機器」と、モノを積み上げる・止める・運ぶといった動作を行う「搬送機器」がある。さらに複雑な電気配線を簡略化してスッキリさせる「省配線機器ユニライン」や、セル生産方式に対応する「セル構成機器」など、用途に応じた豊かなラインアップ構成となっている。

「当社ではこれら各種アイテムの販売に加え、アイテム同士を組み合わせた自動化システムとして提供しています」

取引先は、自動車部品メーカーや電機部品メーカー、家電



クライアントのニーズを汲んで商品やシステムを独自に開発

「この工程をBBS（ブロック・ビルディング・システム）と呼んでおり、当社ならではの大きな特徴であり強みでもあります。長年こうした作業を繰り返してきたおかげで、我々にしかないシステムやブロックを多く開発することができました。全ては幅広いユーザーにより良い製品、システムを提供するために、これがBBSの真骨頂です」と胸を張る。

作業現場全てを 最適にプロデュース

「自動化とエコの両立」
をテーマに

BBSによって自動化システムを洗練させることで「非付加価値工程の部分も洗練させることができる」という。

「非付加価値工程というのは部品の供給・配膳・搬送といった付加価値を生まない工程のことです。この工程を従業員

ら監視することができる。

「例えば電力の変化を遠隔で監視することで、田舎で暮らしている高齢の親がちゃんと生活しているかを子供や孫がチェックすることができます。さらに出力機器と『れんら君』を接続すれば、遠く離れた場所から自分の携帯電話で部屋のエアコンやテレビ、照明を操作することも可能になります。昔からある設備にインターネットを接続できる点も強みで、使い方次第で一般家庭を含め様々な場面で活用させられる優れたものです。『れんら君』は無限の可能性を秘める当社の一押し商品です」

NKE独自のBBS（ブロック・ビルディング・システム）

全ては幅広いお客様により良いモノを提供するため

斬新で画期的な商品を開発するNKEが扱うアイテム数は200種類を超える。「昔はアイテムごとに注文が入れば一から設計して作っていましたが、時間短縮や作業の効率化を図るために共通部分を見通して製造工程の標準化を進めていきました」

現在同社では新たなアイテムを生み出すと、それを一つのブロックとして標準化する。さらに標準化したブロックを組み合わせることで個々のクライアントのニーズに合わせた最適な自動化システムを組み上げていく。

標準化したブロックからモジュールやシステムを製作し、一連の工程からさらに新たなブロックやシステムを生み出していく。こうした工程を延々と繰り返し、既存のものをより高度なシステムに昇華させていくのだ。

が安全に効率よく作業できるようにすることも当社が提供する自動化システムの大切な部分だと考えています」

この非付加価値工程を徹底的に管理することによって従業員の負荷低減や作業ミスゼロを実現していく。PDN（パーツ・ディストリビューション・ネットワーク）といわれ、生産工場などの作業現場全てを最適にプロデュースしていくサービスの提供は、他の追隨を許さないNKEならではのものだ。

「私たちはただ製品を納入して終わりというわけではありません。課題を解決するため現場に向き、お客様と一緒に企画・プランニングを行っていきます。それに基づいて最も適切な機械、システムを設計し製造していきます」

このように商品を販売するだけではなく、クライアントにとって価値のある提案やアイデアを提供することも「NKEの大きな役割」だと中村社長は強調する。

「クライアントの抱える問題をスムーズに解決するための自動化」を事業の柱に据えるNKEは近年「自動化とエコの両立」をテーマにした取り組みにも力を注いでいる。

例えば稼働しなくていい時には機械が自動的に休止して節電する。また使用した圧縮空気を自動で回収して再利用するといった機能を付属してエネルギーの節約に繋がっている。環境に優しくユーザーにとって経費削減になるきめ細かなエコ配慮に努めているのだ。

スタッフ一丸となってオンリーワン路線をひた走る

アジアを中心に海外市場に本格進出

クライアント本位の姿勢を貫くNKEのスタッフは総勢130人。「一人ひとりが経営者の意識をもって業務にあたるように」と、NKEでは主要商品別、地域別、機能別にそれぞれの部門が独立する連邦型分権組織を構成している。

業務の傍ら、スタッフ間で定期的に勉強会を開くなど全員が常に向上心をもって日々の仕事に取り組んでいる。こうしたスタッフに対して「みんな本当によく頑張ってくれています」と中村社長は全幅の信頼を寄せる。

一方、スタッフからも「社長は次々と色んな発想を思いつくアイデアマンです。斬新な着想と独創性あふれたチャレンジ精神を発揮して会社を力強く引っ張ってくれています」とお互いが強固な信頼関係で結ばれている。

スタッフ一丸となって独自のオンリーワン路線をひた走るNKE。今後の展望は「海外進出にも力を入れて取り組んでいきたい」とのこと。現在NKEの売り上げの95%が国内向けで、海外市場の開拓はこれからといったところだ。

「当面はアジア地域を中心に、当社の自動化機器や自動化ノウハウを広めていきます」と話す中村社長だが、NKEは平成24年に中国・広東省に子会社を設立、その翌年にはタイに駐在員を派遣するなど進出の足掛かりを着々と整えてきた。

一方国内事業では、幅広い産業分野でモノづくり環境を支援する設備機器や生産ラインの自動機、オリジナル標準ユニットの設計、製造、販売にさらに拍車をかける。「自動化の新たな価値や可能性を追い求め、長年培ってきた自動機設計の実績、ノウハウからお客様が驚くほど喜んでいただける製品、サービスの提供に邁進していきます」と決意を新たにす。

■ President Profile ■

中村 道一（なかむら みちかず）

昭和 39 年生まれ。京都府出身。昭和 62 年 3 月 近畿大学理工学部機械工学科卒業。平成 6 年 10 月に NKE に入社、様々な部門を経験した後、取締役営業部長、経営企画室長を経て、平成 17 年 6 月に代表取締役社長に就任。

また、経営者のバイブルとしてドラッカー書籍を愛読。ドラッカーの教えを通じて、それぞれの人が属する組織の中で高度の成果をあげ、責任あるマネジメントを学ぶためにドラッカー学会京都支部を立ち上げ、代表を務める。

■ Corporate Infomation ■

NKE 株式会社



所在地	〒 617-0828 京都府長岡京市馬場岡所 27 TEL : 075-955-0071 FAX : 075-955-1063
設立	昭和 44 年 8 月
資本金	2 億 9700 万円
従業員数	130 人
事業内容	「モノづくり環境を支援する」ための設備機器や生産ラインの自動機、及びオリジナル標準ユニットの設計・製造・販売
企業理念	われわれは人と技術の調和を通してわれわれの生活の向上をはかり社会の発展に貢献します。
基本方針	グローバルな視野に立った企業活動を通して、恒に適正な利潤を創出し永遠に安定的に企業を存続させ、われわれの生活を潤いのある心豊かなものにするため、 1. 顧客最優先の商品づくりと高品質の確保を目指します。 2. 個性を尊重し活力と働きがいのある職場づくりに努めます。 3. 自己研鑽に励み調和のとれた人間形成を図ります。

優秀な人材確保で更なる躍進を
自動化（オートメーション）の真価を不断に追求

技術と人材はモノづくり企業の両輪と言われるが、中村社長は「当社が今よりもっと社会に役立つ企業として成長していくためには優秀な人材を確保し、育てていかなければなりません。そのために若い人たちにモノづくりの魅力や楽しさを伝える活動も積極的に行っていきたい」としみじみ語る。

人材の重要性を強く訴える中村社長は「NKE が何のために存在するかといえば、それは第一にそこで働く人たちのため」だという。

「私たちが潤いのある豊かな生活を送ることが会社の目標の一つです。そのためにやるべきことは社会への貢献と、顧客最優先をモットーに一生懸命働き、お客様と社会に役立っていくということです」

自らは会社を第一に考え、常により良いアイデアを模索する中村社長。「趣味は NKE」というほど、会社を愛してやまない。

「私の名前である道一は論語のなかの『吾が道一以て之を貫く』が由来で、一つのことを貫いてやり通すという意味です。今は会社の経営者としての役割を全うすることが、自分が貫くべき道だと思っています」

経営者として円熟味を帯びてきた中村社長の独創性とエネルギーが注ぎ込まれた NKE の原動力でもある。自動化（オートメーション）の真価を不断に追い求める中村社長の情熱の火は、成長を遂げる NKE 躍進の灯でもある。